

創造、都市大好スタート

春高バレー
全国大会
1回戦

▽男子
創造学 2(25-18)0 埼玉栄
2(25-17)0 埼玉栄
▽女子
都市大 2(27-25)0 土浦日
2(27-25)0 大

第1日の結果

創造学園は序盤こそ硬さが見られたが、ライトの池田を中心に着実に加点して第1セットを25-18で奪った。第2セットは、1セット目で課題だったプロットが随所で決まり、失点するなど主導権を握られた。しかし、徐々にペースをつかむと、ライトの小山やレフトの中島、センターの堀内の活躍で27-25

第68回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)は5日、東京都の東京体育館で開幕し、男女の1回戦各20試合を行った。県代表の男子・創造学園は埼玉栄(埼玉)に2-0で快勝し、女子・都市大塩尻も土浦日大(茨城)に2-0のストレート勝ちで2回戦に駒を進めた。6日は男女とも2回戦があり、創造学園は郡山北工(福島)と、都市大塩尻は三重とそれぞれ対戦する。(山浦雄一郎)



「都市大塩尻―土浦日大第1セット、スパイクを決める都市大塩尻の小山

追いつかれてからの強さが勝ちましたが、2セットと撃がレフトに偏り、プロックでも動かない精神的な立ち上がりにはたついた。攻悪の流れを変えたのが、強さの下支えになっていく。粘って白星本領発揮 都市大女子

初戦敗退だった前回大会の雪辱をまずは果たした。岡田隆安監督は「全員バレーで上つていきたい」と次戦、その上を見据えた。(山浦雄一郎)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。